



－平成30年度 全国学力・学習状況調査から－

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、千波小学校の児童の学力をさらに伸ばすために大切と思われる内容をまとめたものです。「進んで学ぼうとする意欲」や「思考力・判断力・表現力」等を育成するために、学校と家庭、地域が一体となった教育活動の充実に向け、引き続き御支援・ご協力をお願いいたします。

平成30年度 本校の教科の学力状況 (A:知識を問う問題, B:知識をもとに活用する力を問う問題)の平均正答率

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科	国語 (A・B 問題) ・算数 (A・B 問題) ・理科の全てにおいて、全国及び県の平均正答率を上回っています。児童が互いに学び合う機会を確保しながら、学力を高めることのできる授業づくりに学校全体で取り組んできた成果であると考えます。
千波小	◎	◎	◎	◎	◎	今後現在の取組を継続させていきます。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
茨城県	71	56	65	52	63	
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3	

◎：全国及び県の正答率よりも高い ○：全国平均正答率よりも高い △：全国平均正答率よりも低い / 茨城県の結果は、整数値で公表

【水戸市全体の調査結果から】

国語	算数
<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A・B問題ともに、全国平均、県平均以上となった。</li> <li>「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」全ての領域において、全国平均、県平均より高い。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして、自分の考えをまとめること。</li> <li>目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。</li> </ul> <p>〈改善方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の話の内容を十分に聞き取り、自分の考えと比べて、共通点や相違点、関連して考えたこと等を整理する。</li> <li>複数の資料から適切な内容を取り上げて、関係付けて書くようにする。</li> </ul>	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A・B問題ともに全国平均、県平均以上となった。特に、「数と計算」「数量関係」の正答率が高い。</li> <li>混み具合の比べ方や180°の角の大きさなど、「量と測定」について多くの児童が理解している。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数のグラフの特徴から情報を読み取ったり、それらを関連付けながら、情報が適切かどうかを判断したりすること。</li> </ul> <p>〈改善方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データを基に、自分の考えをまとめて発表したり、話し合い活動等を通して、新たな考えを見出したりする。「答えを出して終わり」ではなく、結論について批判的・多面的に捉え、考え直すようにする。</li> </ul>

**理科**

〈成果〉

- 全ての分野において、全国平均、県平均以上となった。
- 2つの異なる実験方法から得た結果を基に、判断した内容を選ぶ問題の正答率が高い。

〈課題〉

- 実験を通して導きだす結論を書くこと。
- 学習を通して獲得した知識や生活経験を日常生活などに適用して考えること。

〈改善方法〉

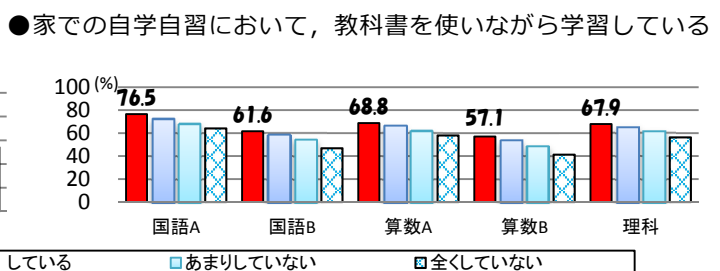
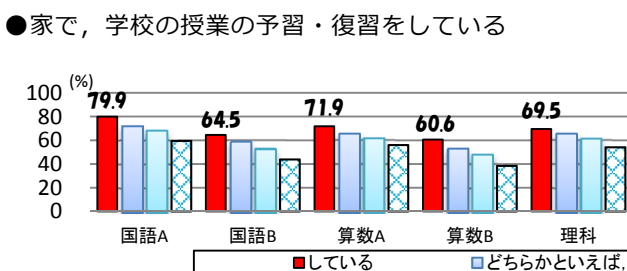
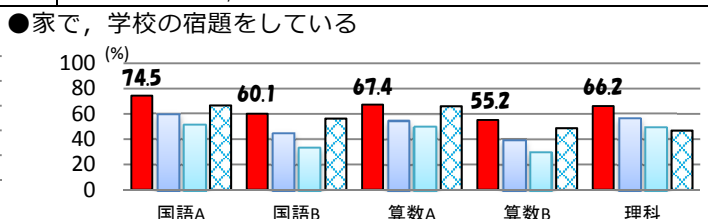
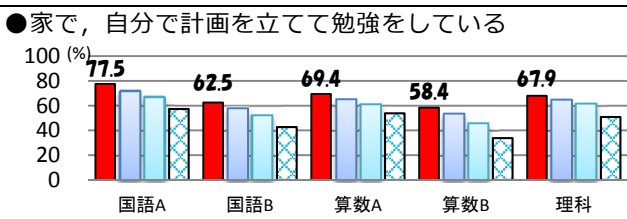
- 実験結果を基にした分析と、問題に正対したまとめができるようにする。
- 学んだことを基にしたものづくりへの適用ができるようにする。

**児童質問紙調査**

◇生活習慣や学習習慣の安定が、学力向上につながります！

(1) 朝食を毎日食べている (2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている (3) 毎日、同じくらいの時刻に起きている

※数値は、「している」と回答した児童の割合



家での学習習慣に関する設問で「している」と回答した児童は、全ての教科で平均正答率が高い傾向にあります。本市では、全ての学校で児童一人一人の家庭学習計画表を作成し、家庭学習ノートを毎日点検します。保護者の皆さまもお子様の学習習慣の定着に向け、学習計画の進み具合を確認するなど、ご協力をお願いいたします。

## 【本校児童の調査結果から】

### 国 語

#### 【学習の成果が見られたところ】

- 1 文の中における主語や述語の関係などに注意して、文を正しく書く  
平均正答率 51.7% 県平均正答率 33.5%
- 2 推敲するためには他のものと比較して書くことで、良さが伝わることを伝える  
平均正答率 82.2% 県平均正答率 71.6%

#### 【課題が見られたところ】

- 1 相手や場面に応じて適切に敬語を使う  
平均正答率 52.5% 県平均正答率 51.1%
- 2 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く  
平均正答率 28.0% 県平均正答率 16.3%



#### 学習のポイント

※課題が見られたことに対しての学習のポイント

- 1 日常生活の中で、聞き手や会話の中に出てくる人などに敬意を表すために、敬語を使えるようにすることは大切なことです。以下のポイントを意識して学習を進めましょう。
  - ・5年生の国語で「敬語（丁寧語・尊敬語・謙譲語）」を学習します。5年生の学習を大切にしましょう。
  - ・日常生活で敬語を意識して使いましょう。実際に使ってみることが習得への近道です。
- 2 推薦理由を明確に伝えるためには、事例をあげて具体的に説明することが大切です。また、事例をあげて書く際には、自分の考えを具体化したり相手の理解を促すことができるか判断したりしましょう。自分の考えを書く機会を確保し、表現力を継続的に高めていきましょう。

### 算 数

#### 【学習の成果が見られたところ】

- 1 1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解している  
平均正答率 78.0% 県平均正答率 68.2%
- 2 示されている考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し分配法則の式に表現する  
平均正答率 75.4% 62.0%

#### 【課題が見られたところ】

- 1 メモの情報とグラフを関係付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる  
平均正答率 23.7% 県平均正答率 20.9%
- 2 円周率を求める式として正しいものを選ぶ  
平均正答率 39.8% 県平均正答率 36.9%



#### 学習のポイント

※課題が見られたことに対しての学習のポイント

- 1 メモの情報と棒グラフを組み合わせたグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題です。
  - ・小学校3年生で棒グラフの学習をします。3年生で棒グラフの基礎をきちんと身に付けましょう。
  - ・算数に限らず社会や理科などの学習においても、グラフから分かることをきちんとノートにまとめるなどして、グラフを読み取る力を高めましょう。
- 2 円周率の意味について理解しているかどうかを見る問題です。
  - ・小学校5年生で円周率を学習します。その際、実際にいくつかの円について直径の長さや円周の長さを測定し、円周の直径に対する割合（円周率）が一定であることを帰納的に見いだせるようにしましょう。

### 理 科

#### 【学習の成果が見られたところ】

- 1 堆積作用について科学的な言葉や概念を理解している  
平均正答率 95.8% 県平均正答率 88.7%
- 2 海水と水道水とを区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を分析し考察できる  
平均正答率 95.8% 県平均正答率 90.4%

#### 【課題が見られたところ】

- 1 一度に流す水の量と棒の様子との関係から地面の削られ方を選びそのわけを書く  
平均正答率：26.7% 県平均正答率 19.5%
- 2 太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合った物づくりに適用できる  
平均正答率 46.6% 県平均正答率 44.8%



#### 学習のポイント

※課題が見られたことに対しての学習のポイント

- 1 5年生で「流れる水のはたらき」について学びます。浸食作用や堆積作用と流れる水の速さや量との関係を、実験を通して学びます。実験の結果をきちんとノートにまとめること、実験結果の違いを比較し分かったことを根拠を基に説明できるようにすることが大切です。授業に真剣に取り組みましょう。
- 2 太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を、目的に合ったものづくりに適用できるかどうかをみる問題です。ものづくりにおいては、既習事項や生活経験を生かしながら、予想通りの動きにならなかった場合には、その原因を一つ一つ吟味し、改善を加えていくことが大切です。

## 児童質問紙調査から

学習意欲、学習環境、生活習慣等に関する調査から見られる本校児童の傾向です。

- |         |                                                                                                                                      |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 〈成果〉    | ・自分には、よいところがあると思いますか。 88.9%<br>→自己肯定感の高まりが、日々の様々な出来事への積極的な取組へとつながってきています。                                                            |
|         | ・将来の夢や目標を持っていますか。 89.8%<br>→夢や目標の実現に向けて、日々の生活を充実しようとする態度が育ってきています。                                                                   |
| 〈課題〉    | ・自分で計画を立てて勉強をしていますか。 71.2%<br>・学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思えますか。 77.1%                                            |
| 〈今後の取組〉 | ・学年に応じた学習計画表を活用し、計画的に学習に取り組む態度を育てていきます。<br>・授業中にお互いの意見を発表し合う機会を今後も確保していきます。ペア、3人組、小グループなど、話し合いの形態を工夫しながら、自分の考えを深めたり広げたりできるようにしていきます。 |

※調査問題は、文部科学省のHPから閲覧できます。現在求められている学力がどのようなものなのか、御家庭で話題にしてみてください。